

名称 OECD (Organization for Economic Co-operation and Development)

日本語名 経済協力開発機構

親機関 ---

住所 2, Rue Andre-Pascal, F-75775, Paris Cedex 16

国名 FRANCE

電話 33-1-45-24-82-00

ファックス ---

1. タイプ：国際経済協力機関

2. 地理的範囲：24 カ国（北米，西欧，太平洋諸国）

3. 目的

1960年にOECD条約が署名され，61年に発効し，OECDが設立された。その目的は，経済成長，低開発国援助と多角的な自由貿易の拡大である。それぞれに対応して，経済政策委員会，開発援助委員会，貿易委員会が設置され，とくに重要な役割を果たしている。

1974年11月にはOECDの中に，国際エネルギー機関（IEA）が設立され，エネルギー節約，代替エネルギー開発促進，緊急時融資制度等の政策推進などの役割を果たしている。

環境関連のOECDの活動は，

- (1) 持続可能な経済開発を促進する視点から環境と経済の意思決定を行う実際的な方法を提案する。
- (2) エネルギーと環境の関係を分析し，エネルギーの安全性，環境保護と経済成長の各目標を調和させる政策を奨励する。
- (3) より環境にやさしいクリーンな技術を開発し，普及するためのインセンティブと障壁を検証する。
- (4) 人の健康に影響を与える工業生産物中の有害化学物質とプロセス（排出量，廃棄物と事故）を制御するための費用効果的なアプローチを開発する。
- (5) 都市政策の環境への影響（局所，国，地球規模）によって都市環境を改善する政策オプションを分析する。

環境問題に関連するOECDのプログラムは持続的開発の重要性を強調している。

4. データ管理

OECD委員会によって採択され，環境大臣によって承認された勧告では，メンバー国に対して目的に応じた，信頼できる比較可能な世界レベルの環境統計と情報を提供することに合意した。OECDの環境データ要約はこの目的に対応して2年に1回出版される。要約の出版とともに，一部のデータについてはフロッピー等で提供されている（有料）。

5. 協力関係： ---

6. 参考文献

OECD, 1991: OECD Environmental Data Compendium 1991, 337 p.

OECD, 1991: OECD Publication Catalogue, 168 p.